

第二回定例会一般質問(抜粋) LRTに全国初の信用乗車方式導入を



熊本和夫議員

LRTの速達性と定時性を向上させるためには、駅での停車時間の短縮が課題であり、乗車方式を検討し解決を図るべき。ヨーロッパ各国で採用している信用乗車方式は大変有効であり、導入に向け取り組むべき。

佐藤市長 信用乗車方式は、サービス面や運行面において

大変有効。芳賀町や宇都宮ライオネル株式会社、宇都宮ICカード導入検討委員会と連携を図り、全国初となる「宇都宮式信用乗車」の導入に向け検討を進めていく。

点等の安全・学校機能の確保 JR宇都宮駅西側への延伸 など 社会状況の変化に対応した都市計画制度の運用について 一条中学校用途廃止予定地の活用について

第二回定例会一般質問(抜粋) 地域防災拠点や避難所の電源確保を



山崎昌子議員

突然の自然災害に迅速に対応できるように、再生可能エネルギーによる発電システムを積極的に進めるとともに、緊急時の電源確保に備えることが重要。今後、地域防災拠点や避難所の電源確保をどのように進めていくのか。

佐藤市長 災害発生時に、電力が復旧するまでの間、避難

者の安全を確保するため、電源確保は大変重要。地域防災拠点や避難所における電源を確保し、避難者の皆様の不安を少しでも和らげられるよう、万全を期していく。

市長の政治姿勢について 宇都宮ブランド戦略のさらなる推進 世界に誇れるにぎわいある観光拠点づくり 北西部地域の活性化

安全・安心な子育て環境について 冒険活動センター敷地内における土壌調査 森林公園少年自然の家の整備 保健・福祉の推進と救急体制について

第二回定例会一般質問(抜粋) JCHOうつのみや病院経営譲渡問題への対応は



篠崎圭一議員

JCHOうつのみや病院経営譲渡について、地域住民は困惑している。連合自治会でも地域の判断として意見集約をはかることは難しいのではないかと。JCHOうつのみや病院の現在の役割を踏まえ、市は、どのような対応をしようと考えているのか。

本橋保健福祉部長 地域の皆

様や市医師会の意見を踏まえ、県とも相談しながら対応していく。

その他の質問項目 災害への備えについて 避難所の見直し 防災拠点やインフラの災害対応力強化 避難所単位での事前の備え 災害時の住まいの確保 災害廃棄物処理に関する連携 教育について

新教育長としての意気込み 問題の根本的な要因の把握とその問題への対応 放課後子ども教室の内容充実 農業政策について 特色あるまちづくりについて 快適な移動ができる乗りかえ LRT平出町停留場及び車庫の活用 中央卸売市場の振興策 ほか 地域の安全・安心について

第二回定例会一般質問(抜粋) 姿川地区の総合スポーツゾーン周辺の道路整備を



角田充由議員

姿川地区の総合スポーツゾーン周辺の今後予想される交通渋滞に対し、道路整備をどのように行っていくのか。

田辺建設部長 旧競馬場西側交差点の右折レーン設置など3箇所の交差点改良を行うこととしており、測量及び設計等を進めている。今後とも周辺整備に取り組んでいく。

その他の質問項目 市長の政治姿勢について ネットワーク型コンパクトシティ実現に向けた市民や事業者の理解促進 ほか 高齢者にやさしいまちづくりについて 地域包括ケアシステムの構築 地域包括ケアシステムの推進体制の整備 地域包括支援センターの機能強化について

適切な人員体制の確保 地域会議の充実強化 ほか 介護施設などにおける生活相談員の資格要件について 障害者差別解消法施行に伴うヘルプカードの普及啓発について 自然災害による農業被害からの復旧状況と今後の取り組みについて 放置自転車対策について

シリーズ LRT

第9回

市民の多くの皆様が期待するLRT事業が、その事業実施に向け、着実に進んでいます。

都市計画審議会においても、慎重な審議が行われ、都市計画決定の運びとなり、5月31日には告示となりました。

また、LRTの沿線となる「ゆいの杜」に小学校を新設することも決まりました。この地域は「LRT効果」により、今後とも、さらなる人口増が見込まれています。

今まで、多くの方々からの要望がありました。それらを受け、市執行部、そして市議会でも多くの時間を費やし、実施方法やルート、様々な課題に対して、議論を積みかさねてまいりました。今後とも、LRT事業を通して、本市が「未来に向かって、輝ける都市」となるような議論を着実にしてまいります。

都市計画の経緯

- 平成28年
- 1月19日 都市計画素案の縦覧(2月2日まで)
- 2月21日 公聴会の開催
- 2月26日 都市計画審議会の開催
- 3月11日 都市計画案の縦覧(3月25日まで)
- 4月28日 都市計画審議会委員によるLRTに係る勉強会・現地調査
- 5月26日 都市計画審議会の開催
- 5月31日 都市計画変更告示

都市計画の目的

都市計画の目的とは、都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、もって国土の均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与することである。

都市計画の意義

- 都市の将来像を実現するためには必要な施設整備の区域や内容を示し、明示することにより、長期的視点に立って計画的かつ着実に都市整備の実現を図る。
- 土地利用規制・誘導やほかの都市施設の計画と整合させることにより、都市全体としての総合性

- 一体性を確保することにある。
- 3 都市にとって必要な施設の配置・規模などの計画を広く市民に提示することにより、市民の理解と協力を得て、円滑な合意形成を図ることにある。

LRTを都市計画決定する理由

「ネットワーク型コンパクトシティ」を実現していくためには、誰もが快適に移動できるようにすることが重要であり、階層性のある公共交通ネットワークの構築に取り組んでいる。

そのような中、LRTはその中心を担う東西基幹公共交通軸であり、LRTを本市の将来における必要不可欠な施設整備として、その区域・内容を明示することで、計画の着実に都市整備の実現を図ることができるため。

また、都市全体として、LRTに関わる土地利用規制、誘導や他の都市施設の計画と連携したまちづくりを図ることができるため。

今後の取組

- 「都市計画事業認可」や「工事施工認可」の取得に向けた手続き
- 事業用地に該当する土地・建物の所有者などへの説明・事業への協力依頼
- 市民理解の促進(LRT沿線のまちづくり、公共交通との連携など)

【諸外国のLRT】

ロンドン(イギリス)でも、LRTが走っています。地下鉄やバスなど公共交通機関がめぐらされ、市民の足となっています。

特徴は、信用乗車方式を採用しているところです。



また、全ての停留所がバリアフリー化され、自転車の持ち込みもできる(一部制限あり)など、本市にも参考になるLRTです。